

カンボジアの政策概要

■ 政策枠組

総合計画	● 国家環境戦略・行動計画2016-2023 (詳細①)
基本法制度 拡大生産者責任 (EPR)	<ul style="list-style-type: none">固形廃棄物管理令 (2009)プラスチックレジ袋管理令 (2017)EPRは特になし
資源循環	
リデュース	<ul style="list-style-type: none">レジ袋の輸入、現地生産、流通、使用を禁止スーパーや会社等でレジ袋使用に係る課金を導入 (1袋あたり0.10米ドル、2018年4月～) (※プラスチックレジ袋管理令)プラスチック使用を2019-2026で70%削減する目標を設定
リユース リサイクル	プノンペン市ではリサイクル目標を設定 ➢ 2023年までにリサイクル率50%、2035年までに95% (非有機リサイクル材) (※プノンペン廃棄物管理戦略・行動計画2018-2035)
マイクロビーズ	特になし
代替素材	生分解性の輸入に対する免税措置 (※プラスチックレジ袋管理令)
公共調達	特になし (グリーン調達パイロット事業 2019-2023、Type I 環境ラベルの導入も検討中)

■ 適正処理

廃棄物処理体制	固形廃棄物管理令 (1999、2009)
流出防止	水質管理令 (2009)、漁業法の策定も検討中
ごみ回収	<ul style="list-style-type: none">都市部のごみ・固形廃棄物管理令 (2015)プノンペン市ではごみ回収率目標を設定：2023年までに90%、2035年までに100%を設定 (2016年比) (※プノンペン廃棄物管理戦略・行動計画2018-2035)
横断的取組	
技術開発	中国との技術移転、財政支援、能力開発に係る二国間協力、韓国ASEICとのエコイノベーション知見の移転に係る協力等を実施
普及啓発 官民協力	廃棄物管理に関する意識啓発、教育事業の実施、EUによる「アジアプロエコプログラム」による廃棄物管理に係る官民セクターの能力強化等
科学的知見の蓄積	Flora & Fauna Internationalによるプラスチックごみ発生源に関する調査の実施等
国際協力	JICA「中小企業海外展開支援事業」で興亜商事による未分別の廃プラスチックを原料とするリサイクル製品の普及事業、世銀「メコン統合水資源管理プロジェクト」、SWITCH-ASIA「Combine in One」キャンペーンでのレジ袋使用削減の教育推進事業等

①カンボジア：国家環境戦略・行動計画2016-2023



持続可能な経済開発に向けた優先政策、ガバナンス強化、ファイナンスに関する国家行動計画である。カンボジア持続可能な開発評議会（NCSD）及びその他関連するすべての省庁・地方政府・民間企業・市民団体等のステークホルダーによる実施が求められる。

策定年・期間 2017年12月承認

目標等

戦略目標：

- ①持続可能な開発成果のための調整、規制、提供機能を向上させるために、セクター横断的な連携と関連する法制度やガイドラインを強化する。
- ②健全な環境と社会的福利のために資源利用効率を改善するとともに、ビジネス競争力を高め、技術革新にインセンティブを与える。
- ③環境・天然資源の管理・保全の近代化に投資するための資金調達メカニズム、利益分配制度、資金計画を検討・実施する。
- ④環境・天然資源の管理・保全を改善するために、国民の意識を高め、個人と制度の能力を構築し、技術移転を促進し、モニタリング科学技術の応用を強化する。

対策

プラスチック関連では、目標2.3「廃棄物管理と3R支援」においてレジ袋使用量の削減及び不適切な廃棄に係る国民意識の醸成等。

実績

プラスチックとその汚染に関するカリキュラムが小学校教育に取り入れられる見込み（報道：2018年時点）